

2018年9月21日

QB 第一号ファンド 「株式会社スポーツセンシング」への出資について

当社の子会社である西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、本日、「QB 第一号ファンド『株式会社スポーツセンシング』への出資について」を公表しましたので、お知らせします。
詳細は、別紙をご参照ください。

以 上



2018年9月21日

QB 第一号ファンド 「株式会社スポーツセンシング」 への出資について

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、地域の事業会社等と共同で出資している「QB 第一号ファンド」（以下「本ファンド」）において、「株式会社スポーツセンシング（代表取締役 澤田 泰輔）」（以下「当社」）へ出資を行いましたので、お知らせします。

当行は、地域金融機関として、本ファンドを通じて大学発ベンチャーの成長及び地域経済の活性化を積極的に支援してまいります。

記

1. 対象企業の概要

会社名	株式会社スポーツセンシング
本社住所	福岡市南区向野 2-2-1
代表者	代表取締役 澤田 泰輔
設立	2015年9月
事業内容	スポーツ/リハビリテーション分野向けの身体運動計測機器、生体信号計測機器、動作分析/ゲーム分析ツール、その他システムやアプリケーションの開発販売
当社URL	https://www.sports-sensing.com/

当社は、九州大学大学院芸術工学府（旧九州芸術工科大学）出身の澤田 泰輔氏が 2015 年に起業したベンチャーで、スポーツ・リハビリテーション分野を中心に製品の開発、製造及び販売、その他、スポーツテック・IOT に関するシステム構築等を行っています。

2. 出資の理由

本件は、当社の下記の点を評価し、出資を行いました。

（1）高い開発力

- ・ 澤田氏の優れたアイデア力と企画力により、スポーツの競技力向上に繋がる製品の開発が行われていること。

（2）成長性

- ・ スポーツの現場における、音声の一斉送信、画像や手描きイラストなどの送信を可能とし、また、既存のスポーツセンシング製品とも連携が可能な画期的なスポーツコミュニケーションツール「SPOCOMM」事業を開始するなど、事業展開の加速による成長が見込まれること。

（3）地域経済の活性化

- ・ 大学等の研究成果を活用した新たな事業の創出及びベンチャー企業の創業支援を行うことにより、地域経済の活性化が期待されること。

以上

参 考

『QB 第一号ファンドについて』

本ファンドは、当行が九州大学の特定関連会社である株式会社産学連携機構九州と共同で設立した QB キャピタル合同会社が運営するもので、九州地域の大学の研究成果を活用した新産業の創出による九州経済活性化を目的に設立されました。

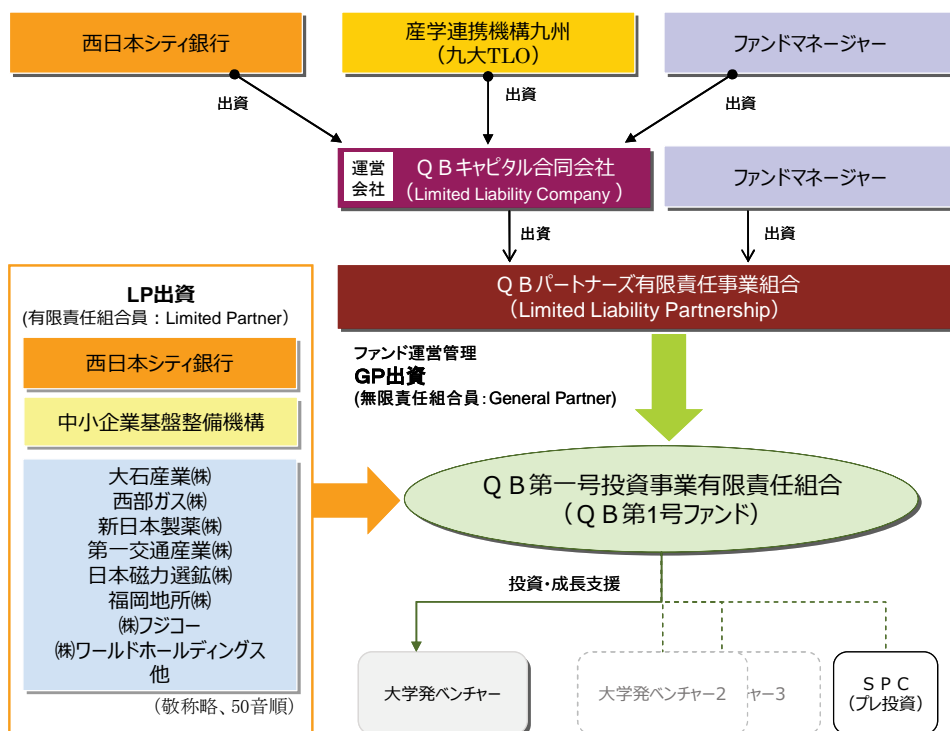
1. ファンドの概要

名 称	QB 第一号投資事業有限責任組合（通称：QB 第一号ファンド）
設 立 日	2015 年 9 月
フ ァ ン ド 総 額	約 31 億円
無 限 責 任 組 合 員 (GP : General Partner)	QB パートナーズ有限責任事業組合
有 限 責 任 組 合 員 (LP : Limited Partner)	株式会社西日本シティ銀行、独立行政法人中小企業基盤整備機構 地域事業会社 他
存 続 期 間	10 年間

2. 運営会社の概要

名 称	QB キャピタル合同会社
設 立 日	2015 年 4 月
所 在 地	福岡市早良区百道浜 2-1-22 SRP センタービル
出 資 者	株式会社西日本シティ銀行、株式会社産学連携機構九州 他
代 表 社 員	坂本 剛、本藤 孝

3. ファンドスキーム図



本件に関するお問い合わせ先
 法人ソリューション部 渡辺・多良木 TEL092-476-2741